企業版ふるさと納税　寄附対象事業のご紹介

V.202611

寄附対象事業について

寄付対象事業 ▶「仙台市地方創生総合戦略」で位置付けられる事業

仙台市地方創生総合戦略が掲げる５つの基本目標

1．魅力ある「しごと」づくり
地域経済の中心である中小企業の活性化やイノベーション創出を通じて、魅力ある「しごと」をつくります

2．新たな「ひと」の流れづくり
地域の魅力発信による交流人口の拡大・若者の地元定着や、域内外からの投資の誘引をはかります

3．子育てを楽しめる社会の実現
希望する方が安心して結婚、出産でき、子育てを楽しめる社会の実現に取り組みます

4．持続可能でしなやかな「まち」づくり
豊かな自然環境と防災・減災への取り組みが調和した、防災環境都市づくりを推進します

5．地域特性に合わせた多様な主体が活躍できる社会づくり
杜の都の個性を活かし、誰もが安心して暮らし、学び、思い思いに活躍できるまちづくりを進めます

本資料でご紹介する事業

1．魅力ある「しごと」づくり

P 3｜地域中核企業輩出支援パッケージ
P 4｜農業イノベーション・農食ビジネスの推進
P 5｜起業家・スタートアップ支援
P 6｜成長産業振興

2．新たな「ひと」の流れづくり

P 7｜リサーチコンプレックス形成（NanoTerasu）
P 8｜若者の仙台への定着促進「仙台で働きたい！プロジェクト」
P 9｜国内外からの誘客・滞在の促進
P10｜杜の都・仙台のまつり支援
P11｜音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設整備
P12｜新本庁舎整備事業
P13｜まちなかウォーカブル推進事業
P14｜八木山動物公園魅力アップ事業
P15｜文化財の継承・普及啓発事業
P16｜国指定史跡　仙台城跡　大手門の復元

3．子育てを楽しめる社会の実現

P17｜公益財団法人仙台こども財団の取組
P18｜子育て応援の気運醸成事業・こどもの遊びの環境充実事業
P19｜妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業
P20｜仙台自分づくり教育推進事業・ ICT教育推進
P21｜ブックスタート事業

4．持続可能でしなやかな「まち」づくり

P22｜防災環境都市づくり推進事業
P23｜アジア太平洋防災閣僚級会議開催準備事業
P24｜震災メモリアル事業
P25｜脱炭素都市づくり推進事業
P26｜ごみ減量・リサイクル推進事業
P27｜東部地域みどりの再生事業
P28｜緑の保全事業
P29｜生物多様性保全推進事業
P30｜公共交通利用促進事業
P31｜地域交通運行確保・運行支援事業

5．地域特性に合わせた多様な主体が活躍できる社会づくり

P32｜「Full Digitalの市役所」推進事業
P33｜「健康の都　せんだい」の推進
P34｜ハナミドリエ事業
P35｜文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進
P36｜アートによる定禅寺通エリア魅力創出事業
P37｜ダイバーシティ推進事業
P38｜「学都仙台」大学等支援

地域中核企業輩出支援パッケージ

魅力ある「しごと」づくり

- **仙台・東北の地域経済を牽引する「地域中核企業」の輩出を目指し、各企業の課題に応じた様々な施策により地元企業に対する重層的な支援を行います。**

経済的インパクト
域内取引の増加や「外貨」の獲得
雇用の増加、賃金の引き上げ等

＋

社会的インパクト
企業の存在やその企業での働き方
生み出す商品・サービス等が
本市の魅力につながること

⇒

地域に両方のインパクトを
もたらす企業

“地域中核企業”の輩出を目指す

100億宣言

取組内容（R8年度）

仙台「四方よし」企業制度

「売り手よし」「買い手よし」
「世間よし」「働き手よし」
な企業の取組みを後押し！

アクセル・ライズ支援（外部複業人材活用）



外部の複業人材の活用を支援し、
企業の新規事業等の推進力を高め、
成長を加速！

地域中核企業輩出集中支援

成長意欲ある市内企業を選定し、伴走支援を実施！



（R7選定企業5社のキックオフセレモニーの様子）



人材定着・組織開発プログラム

経営層に対し人材定着の仕組みづくりや
組織開発スキルの習得を支援！

その他、様々な事業者支援施策を実施中

企業の皆様へのメッセージ

東北地方の急激な人口減少の中で、仙台・東北が今後も維持・発展していくためには、**地元企業の成長が不可欠です。**成長意欲ある地元企業を力強く後押しし、東北の地域経済活性化を実現するため、**ぜひ貴社のお力をお貸しください！**

担当： 経済局 中小企業支援課　TEL022-214-7338

農業イノベーション・農食ビジネスの推進

- **効率的で収益性が高い水田輪作体系を構築するため、産学官金連携のプロジェクトチームにより、スマート農業技術や環境負荷低減技術等を用いた実証を行います。**
- **ウェブサイト・ＳＮＳを活用した情報発信や生産地と消費地の近さを活かした取り組みにより地産地消を促進します。**



市内東部地域と西部地域でモデル農地を設置し、水田での水稲生産を主軸として園芸品目や他穀類を生産する輪作体系案の構築及びスマート農業技術等を用いた実証を行っています。





生産地と消費地の近さを活かし、鮮度が重要な野菜をその日のうちに提供する「今朝採り枝豆」など農産物の付加価値向上の取り組みや、市内の飲食店とのマッチング、webサイト等での生産者の紹介など、地産地消につながる取り組みを行っています。

企業の皆様へのメッセージ

昔、江戸を流通する米の３分の２は「仙台米」と言われ、江戸の食を支えていた仙台の農業。
その伝統ある仙台の農業を未来につなげるため、イノベーションによる新しい農業や地産地消の取り組みを一緒に進めてみませんか？

担当： 経済局 農業振興課　℡022-214-8335・8266

起業家・スタートアップ支援

- 起業や起業後の事業継続、成長を支援するとともに、次世代のスタートアップ人材の挑戦を支援し、社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続ける企業を連続的に生み出す環境を形成します。

起業・スタートアップの支援拠点・体制強化



仙台スタートアップスタジオ

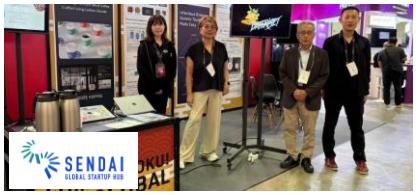


仙台市起業支援センター
（アシ☆スタ）

ロールモデルとなるスタートアップの輩出



研究開発型スタートアップ育成



海外スタートアップイベント出展



社会起業家育成・支援プログラム

ロールモデル予備軍の発掘・育成



首都圏CXO候補人材／ベンチャーキャピタルとのマッチング



グローバルスタートアップイベント

学生・若者のアントレプレナーシップ醸成



仙台グローバル
スタートアップ・キャンパス



小学生向け起業体験
ワークショップ

企業の皆様へのメッセージ

東日本大震災後、仙台・東北地域では「誰かのために」「地域のために」といった利他的マインドによる起業の動きが活発化しました。社会課題解決に挑戦する社会起業家の育成や事業の急成長を目指すスタートアップ企業の支援を通じて、仙台・東北から世界を変えるイノベーションの創出を目指しています。

担当： 経済局 スタートアップ支援課　TEL022-214-8278・8768

成長産業振興

- **地域企業によるAI等の先端技術やデータ利活用による新事業創出支援、防災減災・環境・農林水産業等の異分野との事業共創推進、事業創出を牽引する高度ICT人材の育成・確保に取り組み、付加価値の高いビジネスが持続的に生まれる環境を構築します。**

AI・データ利活用の推進と人材育成



ビジネス創出ワークショップ



AI・データ活用新事業創出プログラム

防災減災、環境等異分野との融合



防災ソリューションを創出する産学官連携プラットフォーム



環境系（小学校の太陽光パネル）現場視察

実証実験を通じた開発・社会実装支援



全自動津波避難広報ドローンの実証・実装



オンライン診療導入に向けた電子聴診器の開発支援

IT人材の地域定着・UIJターン支援



市内教育機関と連携したIT企業トークセッション



地域IT企業とUIJターン希望者の交流会

企業の皆様へのメッセージ

仙台では、社会課題・産業課題・事業課題の解決をテクノロジーで実現するため、多くの地域企業や大学等の学術教育機関などが挑戦を続けています。社会人・学生・若者など、産学官の多様なプレイヤーが連携し、テクノロジーによる課題解決と経済成長を両立するイノベーションが生まれる地域を目指しています。

担当： 経済局 イノベーション企画課　TEL022-214-8263

リサーチコンプレックス形成（NanoTerasu）

- 3GeV高輝度放射光施設「NanoTerasu（ナノテラス）」は、太陽光の約10億倍もの明るい光を使って物質をナノレベルまで観察できる、世界最高水準の研究施設です。
- 最先端研究を行う研究機関・大企業だけでなく、全国の中小企業も自社の課題解決に向けてナノテラスを活用しています。また、高校の教育活動では生徒の課題研究・探求学習の場となり、探究テーマの測定会やナノテラスを利用する研究者による講演会には、文系・理系を問わず多くの生徒が参加しています。
- 本市では、ナノテラスの利活用推進と、研究拠点の集積による多様な研究者同士の交流からイノベーションが次々と生まれることを目指したリサーチコンプレックスの形成を推進しています。

01 NanoTerasu



ナノテラスは令和6年4月の運用開始から学術・産業分野で広く活用され、社会課題解決への貢献も期待されています。

02 Support

Waku Waku

NanoTerasu シェアリング2000

2000時間枠でイノベーションが湧く わくわくする未来へ♪

本市の「NanoTerasuシェアリング2000」等の利用支援事業を活用し、全国の企業がナノテラスでの測定に取り組んでいます。

03 Educational Use



最先端施設での測定体験や日々研究に邁進する研究者から直接話を聞く機会を通して、科学技術への関心や探究心を育み、次世代を担う人材の育成に貢献しています。

企業の皆様へのメッセージ

ナノテラスの産業利用促進や研究開発環境の充実、人材育成の取組みの拡大には、企業の皆様のお力添えが不可欠です。未来に向けた産業基盤づくりへのご支援として、企業版ふるさと納税へのご協力をぜひお願い申し上げます。

担当： 経済局 産業集積推進課　TEL022-214-3154

若者の仙台への定着促進の取組

「仙台で働きたい！プロジェクト」

新たな「ひと」の流れづくり

- 就職活動に臨む学生のみならず、低学年の学生も対象に、「地域企業を知り、仙台での就職を考える」機会となるイベント等を実施しています。
- また、就職・転職お役立ちポータルサイト『仙台で働きたい！』を運営し、1,900社以上の企業情報やイベント情報、仙台で働く若手社員のインタビュー記事等を発信しています。



マッチングイベント
「センダイシゴト博」



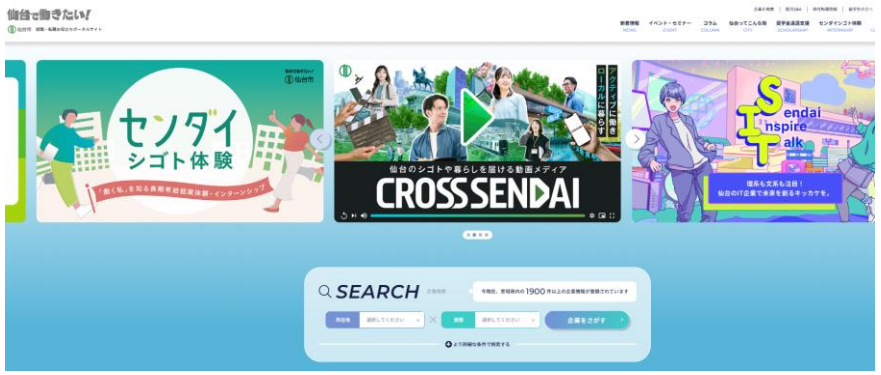
少人数業界研究イベント
「センダイシゴト大学」



地元大学等と連携した就業体験
「みやぎの就業体験プログラム」



長期有給就業体験
・インターンシップ
「センダイシゴト体験」



ポータルサイト「仙台で働きたい！」

企業の皆様へのメッセージ

本市では、学生や若者の首都圏への流出に危機感を持っています。仙台で働くことの魅力等を効果的にアピールすることで、多くの若者の仙台での活躍につなげたいと考えております。企業の皆様にもぜひお力添えいただけますと幸いです。

担当： 経済局 商業・人材支援課　TEL022-214-1007

国内外からの誘客・滞在の促進

- **インバウンドを促進するために、東南アジア諸国を中心として市長等によるトップセールスや旅行博出展、海外メディア・旅行会社招請等のプロモーションを行っています。**
- **交流人口の拡大を図るため、各種支援制度を活用したMICEの誘致や、MICE開催後の市内及び近隣地域への回遊促進の取組等を行っています。**



市長によるトップセールスの様子

各種プロモーションを行い、仙台・東北の知名度向上や訪問意欲の喚起を目指しています。特に航空路線の維持・拡大は大きな誘客を見込めるため、仙台空港国際定期便の誘致活動にも力を入れています。



MICEの誘致・開催のための商談イベントの様子

大規模会議等のMICEの開催は、開催地に関係者が集い、人や情報のネットワークの構築や都市間競争力の向上につながるほか、本市の魅力を知っていただく絶好の機会です。国内・国外を対象に、誘致に取り組んでいます。

企業の皆様へのメッセージ

世界的な訪日旅行需要の増加に伴い、仙台市内における外国人宿泊者数も増加傾向にありますが、全国に占める東北のシェアは２％以下であり、東北・仙台の認知度向上に向けて引き続きプロモーションを行っていく必要があります。ぜひ、企業の皆さまにもお力添えいただけますと幸いです。

担当： 文化観光局 インバウンド・MICE推進課　TEL022-214-8019

杜の都・仙台のまつり支援

- １年を通して開催されているさまざまなまつりやイベントは、仙台の各季節の風物詩として、多くの市民や観光客で賑わっています。
- これらのまつりやイベントの多くは、市民が中心となって創り上げ、多くのボランティアに支えられています。



12月 SENDAI 光のページェント
R７来場者：250万人



５月 仙台・青葉まつり
R７来場者：90万人



10月 仙台みちのくYOSAKOIまつり
R７来場者：60万人



９月 定禅寺ストリートジャズフェスティバル
R７来場者：62万人



８月 仙台七夕まつり
R７来場者：210万人



８月 仙台七夕花火祭
R７来場者：45万人

企業の皆様へのメッセージ

各まつりやイベントの開催経費は、物価や人件費高騰等の影響で増加傾向となっており、開催規模の維持、事業継続、伝統の継承、さらなる魅力の向上などを支援していく必要があります。
是非、企業の皆さまにもお力添えいただけますと幸いです。

担当：文化観光局 観光戦略課　Tel　022-214-8260

音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設整備

新たな「ひと」の流れづくり

- **令和13年度（2031年度）中の開館に向けて、生の音の響きを重視した2,000席規模の大ホールを備え、仙台の文化芸術の総合拠点となる音楽ホールと、防災環境都市・仙台ならではの災害文化の創造拠点となる中心部震災メモリアル拠点の複合施設の整備を進めています。**
- **本市のアイデンティティを象徴する青葉山エリアに新たなランドマークが誕生することにより、仙台の魅力や存在感を高め、交流人口の拡大など、地域経済にも大きく貢献する施設を目指します。**



大阪・関西万博の会場デザインプロデューサーを務めた世界的建築家の藤本壮介氏が設計しています。

※画像は施設外観イメージ



大ホールでのコンサートイメージ

仙台フィルハーモニー管弦楽団をレジデントオーケストラに位置づけ、仙台国際音楽コンクールの新たな会場となるなど、「楽都仙台」をさらに発展させる拠点となります。



災害文化　ワークショップイメージ

多様な主体の参画・交流により、災害を知り・日常的に備え・発生した災害を乗り越えていく「災害文化」を創造し、社会に定着させていく拠点となります。



乳幼児を含むこどもたちへ文化芸術体験を届けることを事業の大きな柱とします。

企業の皆様へのメッセージ

本施設は、文化芸術と災害文化が融合することにより、未来をより豊かに生きるための文化を創造し、発信する拠点となるものです。杜の都の新たなシンボルとなる施設の整備に向け、ご支援をお願いいたします。

担当： 文化観光局 青葉山エリア複合施設整備室　TEL022-214-6139

新本庁舎整備事業

ここからはじまる　杜の都の次の100年　～「ひと」と「まち」がともに輝く未来に向けて～　　新たな「ひと」の流れづくり

- ひとが集い、活動が交わり、新たな価値が生まれる協働・共創の場を皆さまとともに育むことで、勾当台・定禅寺通エリアの魅力をさらに高め、笑顔が広がるまちづくりをみなさまとともに進めます。

まちづくり
賑わい・協働

市民とともに、まちとともに新たな時代に向けてチャレンジ

利便性　　持続可能性・環境配慮

災害対応
危機管理



新本庁舎には将来にわたる安定したサービスの提供や災害時における安心安全の確保に加え、周辺エリアとのにぎわいの相互波及やまちの回遊性向上を図るため、低層部には民間活力の導入等により市民等が日常的に利用できる機能を設けます。

みなさまからのご支援は、世代を超えた交流やにぎわいが生まれる場づくりに活用し、開かれた庁舎をつくりあげていきます。



定禅寺通周辺から見たイメージ



北東から見たイメージ（低層部）

特別企画　新本庁舎に掲出する支援者銘板に企業名を掲載

プロジェクトパートナーとして「証」と「魂」を“刻印”します。



※画像はイメージです。実際のものとは異なります。

〇対象者：10万円以上のご支援をいただいた企業さま
〇対象期間：令和8年11月2日~令和9年9月30日
〇設置場所：新本庁舎低層棟２Ｆラウンジ内
※設置した銘板は開庁日からご覧いただけます。
※寄付いただいた企業様で掲載が不要な場合は下記担当までご連絡ください。

企業の皆様へのメッセージ

勾当台・定禅寺通エリアは、市民や多くの人々が憩い、交流し、仙台の新たな「ワクワク」が生まれる舞台の一つへと進化を続けており、仙台市役所新本庁舎もこれまでの行政機能だけではなく、このまちを創造する空間に生まれ変わろうとしています。このまちの未来を育てるプロジェクトに、ぜひ皆さまもご参加ください！

担当：財政局本庁舎整備室　℡022-214-3170

まちなかウォーカブル推進事業

- **居心地がよく巡り歩きたくなる人中心の都市空間の形成を推進する「まちなかウォーカブル推進事業」では、公共空間再整備（ハード）と民間主体による公共空間利活用への支援（ソフト）の両輪により、多様な人々の出会いや交流が生まれる都心を目指しています。**



青葉通エリアのあり方検討

「シンボルロードである青葉通」や「仙台の顔である仙台駅前エリア」の形成に向け、沿道民地と道路空間が一体となった魅力的な公共空間を創出し、他のエリアへと導く回遊性の向上、居心地がよく歩きたくなる歩行者空間を創出します。



定禅寺通再整備

シンボルであるケヤキ並木を継承しながら、人々が安全・快適に通行・滞在ができる「ひと中心の空間」を形成し、多様なアクティビティが生まれ、交流や賑わいの創出につながる環境づくりを行うため、車線削減を伴う再整備を実施しています。



公共空間利活用支援

都心部の歩道等において、快適に滞在できる休憩や飲食スペースなどの設置等に取り組む団体に対し、事業実装に向けた社会実験の共催、各種制度活用に向けた支援等を行っています。

企業の皆様へのメッセージ

仙台市におけるウォーカブルなまちづくりに資する公共空間再整備、都心部のエリアの価値を高める空間利活用の取組みに関心のある企業様、ぜひご検討ください。

（青葉通エリアのあり方検討担当）：都市整備局 都心まちづくり課　℡022-214-8314
（定禅寺通再整備担当）：建設局 道路計画課　℡022-214-8375、建設局 北道路建設課　℡022-214-6154、建設局 公園整備課　℡022-214-5258
（公共空間利活用支援担当）：都市整備局 都心まちづくり課　℡022-214-8311

八木山動物公園魅力アップ事業

- **八木山動物公園の施設長寿命化再整備計画に基づき、老朽化が著しい園内施設の長寿命化対策とともに、動物園の魅力アップのための再整備を行っています。**
- **園としての満足度向上を図る取り組みとして、学習施設としての機能、希少動物の繁殖・導入、イベントの開催など一層の充実を図ります。**



施設の長寿命化対策を進めながら施設更新のタイミングに合わせた再整備（環境生態展示の充実、行動展示の導入、屋内展示施設の新設など）を進め、動物園の魅力アップに取り組んでいます。



国内外の動物園や研究機関と連携し、希少種の繁殖や生息域内保全に取り組むことにより、種の保存に貢献しています。また、動物の命や生息環境について考える学習の場としての機能も強化しています。



多くの皆様に楽しんでいただけるよう、８月の夜間開園や、11月の八木山フェスタなど、年間を通じて様々な主催・共催イベントを充実させています。

企業の皆様へのメッセージ

1965年の開園以来、多くの皆様に愛され、年間約50万人のご利用をいただいております。
また、おかげをもちまして令和７年に開園60周年を迎えました。
これからも皆様に愛され続けるための、動物園ならではの取り組みにご期待とご支援をお願いいたします。

担当： 建設局 八木山動物公園管理課　TEL022-229-0122

文化財の継承・普及啓発事業

- 文化財は、我が国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民共有の財産であり、仙台市の歴史文化等の正しい理解のためにも不可欠なものです。
- 本市では、文化財の指定・登録を通じた保護、発掘調査、修理や伝承者養成等への補助、史跡の公有化や整備、各種普及啓発事業など、文化財の保存と活用にかかる様々な取り組みを行っています。

民俗芸能を“未来に伝える”



ユネスコ無形文化遺産「秋保の田植踊」

市内には、ユネスコ無形文化遺産「秋保の田植踊」をはじめ、神楽や鹿踊、剣舞などの民俗芸能が数多く継承されてきましたが、少子高齢化等による後継者・担い手不足が深刻化しています。
本市では、民俗芸能のつどいや体験会などの民俗芸能に親しめる機会づくりや、保存会が相互に交流・連繋しながら保存・継承を目指す場づくりなどに取り組んでいます。

子どもたちの“ファンを作る”



出前授業の様子

市民が地域の歴史や文化に対する理解を深めたり、ふるさとへの誇りと愛着を持てるよう、様々な普及啓発事業に取り組んでいます。
特に、次代を担う子ども達への理解促進に力を入れており、文化財課職員が講師として学校を訪問する出前授業、遺跡などでの校外学習の受け入れや職場体験などに積極的に取り組んでいます。

企業の皆様へのメッセージ

文化財は、地域の誇りであり貴重な資源です。御寄附を通じて、地域文化の保護や観光振興に貢献いただけます。仙台の美しい文化財を私たちと一緒に、ともに未来へ残していきませんか？

担当： 教育局文化財課　TEL022-214-8892

国指定史跡　仙台城跡　大手門の復元

- 仙台藩初代藩主・伊達政宗公が築いた仙台城。大手門はその正門として建造され、長年にわたって市民に親しまれてきました。昭和6年には脇櫓とともに国宝に指定されましたが、昭和20年に仙台空襲で焼失しました。
- 伊達政宗公の没後400年となる令和18年に向けて大手門復元事業が本格始動しました。
- かつての威容を取り戻し、地域の誇りを再生するとともに、歴史・文化教育、観光振興など幅広く活用が期待されます。



大手門の正面からの整備イメージ



仙台城の大手門は、江戸時代を通じて仙台城の正門として機能し、藩主の出入りや特定の儀式の際にのみ開門される、格式ある特別な門でした。高さは約12.5メートルで、現代の建物に換算すると4階建てに相当する堂々たる規模を誇り、仙台城の象徴にふさわしい威容を備えていました。

仙台発祥の地である仙台城跡は、政宗をはじめとする歴代藩主が城下を見渡した場所として、今も杜の都・仙台を見守り続けています。こうした歴史的背景を踏まえた本丸跡からの眺望と、自然環境と調和した城郭らしさを持つ市街地からの景観を“政宗ビュー”と象徴的に表現し、それらを史跡整備により実現することで、仙台城跡がより一層地域の誇りと愛着を育む場になることを目指します。

企業の皆様へのメッセージ

かつて市民から長年にわたり親しまれてきた仙台城大手門。再び市民の誇りとして復元し、仙台城の価値を後世に伝えていくため、ぜひ皆様のご支援をお願いします。

担当：教育局文化財課　TEL022-214-8544

公益財団法人仙台こども財団の取組

子育てを楽しめる社会の実現

- 「まち全体がこども・子育て家庭にあたたかく、すべてのこどもたちが健やかに育つ社会」を目指して取り組みを進めています。
- こどもや若者が自ら考え、意見を伝え、その提案を実現できる機会をつくることで、社会の一員としての主体性や自己肯定感を育む活動に力を入れています。
- 地域のつながりの希薄化、少子化の進展により、こども・若者が地域と関わりながら育つ機会が少なくなっていることから、多世代交流を切り口に「こどもの居場所づくり」に取り組んでいます。

こどもたちの「やってみたい！」を応援



ご寄附の主な活用先

こども提案プロジェクト助成
こどもたちが主体となって取り組んだまちづくり活動へ助成します。

こども・どこでも居場所づくり助成
地域で多世代交流の居場所づくりに取り組む活動へ助成します。

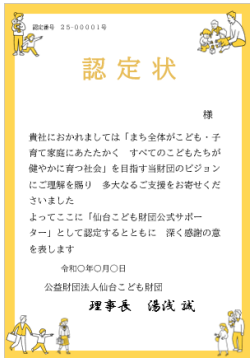


こどもたちが自分らしく安心して過ごせる居場所づくりを応援

企業の皆様へのメッセージ

こどもたちが思い描く夢を一緒に応援しませんか？

ご支援いただいた企業の皆様は「仙台こども財団公式サポーター」に認定させていただき、ウェブサイトやSNS、主催イベント等でご紹介いたします！
（そのほか、活動発表会におけるコメンテーター参加のご招待等を予定）
企業版ふるさと納税を通じて、仙台のこどもたちのチャレンジや居場所づくりを応援してください！



認定番号 25-00001号

認 定 状

様

貴社におかれましては「まち全体がこども・子育て家庭にあたたかく すべてのこどもたちが健やかに育つ社会」を目指す当財団のビジョンにご理解を賜り 多大なるご支援をお寄せくださいました
よってここに「仙台こども財団公式サポーター」として認定するとともに 深く感謝の意を表します

令和〇年〇月〇日

公益財団法人仙台こども財団

理事長 湯浅 誠



担当： こども若者局子育て応援都市推進課　TEL022-214-2129

子育て応援の気運醸成事業
こどもの遊びの環境充実事業

子育てを楽しめる社会の実現

- 「子育てが楽しいまち・仙台」の実現を目指し、まち全体でこどもと子育てを応援する気運の醸成を図るために、子育て家庭を応援する店舗・施設に関する情報発信等を行っています。
- 「都市個性を生かした、こどもの育ちと子育てを支える遊びの環境の充実」を基本理念に、自然を活用した遊びの充実や、西公園への屋内遊び場の整備等、遊びの環境の充実に取り組んでいます。



【ios用】

【Android用】

仙台での子育てを応援する情報サイトで、子育てに関するさまざまなサービス、施設情報、イベント情報などの行政情報のほか、子育て家庭に優しい取組みを行う店舗やこどもの遊び場に関する情報を発信しています。



本市で生まれ育つお子さんの誕生をお祝いし、カタログギフトをプレゼントしています。育児用品、子育て家庭が利用できるサービス、米や伝統工芸品といった地場産品など、3万円相当のものを選択し、受け取ることができます。



本市の魅力の一つである豊かな自然を活用した遊びや、屋外の遊びと連続性をもった遊びが可能となるような施設について、西公園南側区域を計画地とした屋内遊び場の整備を進めています。多様で自由な遊びが広がり、こどもたちの明るい未来を広げることにつながる施設を目指します。

企業の皆様へのメッセージ

「子育てが楽しいまち・仙台」を実現するため、まち全体でこどもと子育て家庭を応援する気運の醸成を図るとともに、こどもの健やかな成長を支える遊びの環境の充実にこれからも取り組んでまいります。是非、ご支援をお願いいたします。



担当： こども若者局子育て応援都市推進課　TEL022-214-2129

妊娠・出産・子育て期にわたる 切れ目のない支援事業

子育てを楽しめる社会の実現

- すべての子育て家庭が孤立することなく、子育ての喜びを実感できるよう、母子保健等に関する様々な事業を充実させ、安心してこどもを産み育てられる環境の整備を進めていきます。



妊娠に関する相談支援

妊娠には不安や心配がつきもの。専門職がご相談に応じるほか、各種教室等を実施し、出産や育児に臨むための支援をしています。



産後ケア

出産後は育児の仕方に悩んだり、眠れなかったり…　そんなときには産後ケア！専門職への相談や、心身のリフレッシュの機会をご提供しています。



乳幼児健診等

定期的な健診や個別相談のほか、就学前の発達相談を実施するなど、こどもの健やかな発育・発達を応援するため、切れ目のない支援を行っています。

企業の皆様へのメッセージ

子育て支援に関わる主体の輪を広げ、
官民連携による「子育てが楽しいまち・仙台」の実現を目指しています。

担当：こども若者局こども家庭保健課　TEL022-214-8189

仙台自分づくり教育推進事業・ICT教育推進

子育てを楽しめる社会の実現

- 仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」は、児童生徒が自ら学ぶ意欲を持ち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育むことをねらいとしています。
- これからの社会をたくましく、しなやかに生き抜く力を育むためにＩＣＴを活用した教育を推進しています。



職場体験活動

平成21年度から市内すべての中学校で3日間以上の職場体験活動を実施しています。将来に向けて、人や社会との関わりを大切にしながら働くということを意識させ、生徒の勤労観・職業観、自立の力を育んでいます。



仙台子ども体験プラザ（スチューデントシティ）

「スチューデントシティ」は一つの街を形成しています。児童はここで、働くことと、働いて得た給料によってモノやサービスを購入する消費活動、税金を納めたり、街づくりについて考えたりする市民としての活動などを行います。



子どもの可能性を広げる教育環境づくり

ICTの活用を通じた情報活用能力の育成や、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育む「仙台自分づくり教育」など、子どもの可能性を広げる教育環境づくりに取り組みます。

企業の皆様へのメッセージ

仙台自分づくり教育は、子どもたちが望ましい職業観や勤労観を学び、変化の激しい社会の中でたくましく生きる力を育む教育です。どの事業においても、事業所や地域の方からたくさんの協力をいただきながら、充実した活動を続けてます。未来の仙台市を担う子供たちのために、ご支援、ご協力いただけたら幸いです。

担当：教育局教育指導課　TEL022-214-8421
教育局学びの連携推進室　TEL022-214-8438

ブックスタート事業

- 令和8年10月より、本市在住の赤ちゃんとその保護者を対象に、市内図書館７館及びのびすく等の施設において「おはなし会」を開催し、参加者に絵本をプレゼントする「ブックスタート事業」を新たに実施します。
- 絵本に親しむ体験を通じて、赤ちゃんが言葉や想像力を育む環境づくりを支援します。



市内７つの図書館では、図書館職員やボランティアによる乳幼児向けのおはなし会を定期的に開催し、親子で本にふれあい、楽しめる時間を提供しています。



子育て世帯に向けたおすすめ本のパンフレット作成や、テーマごとのブックリスト作成にも積極的に取り組み、読書のきっかけづくりを進めています。

企業の皆様へのメッセージ

本市では、０歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館を目指して、様々な事業を行っています。
より多くの親子が本に親しみ、赤ちゃんがすこやかに成長できるよう、皆さまのご支援をお願いします。

担当： 教育局 市民図書館　℡022-261-1585

防災環境都市づくり推進事業

- 「杜の都」の豊かな環境を活かし、東日本大震災の経験を踏まえながら、災害や気候変動などの脅威にも備える、しなやかで強靭な都市「防災環境都市・仙台」を目指しています。



【施策の柱】

- 防災環境まちづくり
- 防災環境ひとづくり
- 経験と教訓の伝承等



仙台防災未来フォーラムの開催

震災の経験や教訓を未来の防災につなげていくことを目的に、市民が防災を学び、日頃の活動を発信するイベントを開催しています。
市民団体や学生、企業等による復興や防災、環境配慮などの多様な取組みを、発表や展示を通じて市民の皆さまと共有する場となっています。



国内外への発信

東日本大震災を経験した都市、国際的な防災指針「仙台防災枠組」採択都市として、世界の防災・減災に貢献できるよう、国際会議への参加や海外からの視察受け入れ等を通じて、本市の取組みを世界に向けて発信しています。

企業の皆様へのメッセージ

本市では、安全・安心で持続可能なまちづくりを進めるとともに、「防災環境都市・仙台」として国内外から選ばれる都市となることを目指しています。防災は、国際的にも高いプレゼンスを発揮できる分野であり、市民や企業の皆様とともに取組み、発信してまいります。寄付を通じて応援いただけますと幸いです。

担当： まちづくり政策局 防災環境都市推進室　TEL022-214-8098

アジア太平洋防災閣僚級会議開催準備事業

- **国連防災機関（UNDRR）が2027年秋に開催する「アジア太平洋防災閣僚級会議（APMCDRR）」の仙台開催に向け、国連防災機関や関係機関と連携し本体会議の準備を行うとともに、地元実行委員会を設置し、関連イベント及び歓迎事業等の企画・運営、国内外の機運醸成に向けた情報発信事業等を行います。**



▲2024年アジア太平洋防災閣僚級会議（フィリピン・マニラ）

世界的な防災指針である「仙台防災枠組2015-2030」の推進に関する取り組み状況や課題等について議論する会議です。国連が主催する防災分野の会議が本市で開催されるのは、2015年に開催された第3回国連防災世界会議以降、12年ぶりとなります。



▲2015年国連防災世界会議　パブリックフォーラム

多様な主体が発信できるサイドイベントの開催や機運醸成に係る広報発信等、関連イベントの開催等を進めていきます。また、会議の円滑な成功に向け、交通支援、警備、スタディツアー・エクスカーション実施、語学ボランティアの配置等にも取り組んでまいります。

企業の皆様へのメッセージ

本市では、会議開催を通じて本市の防災に係る知見や教訓をアジア太平洋地域各国に共有し、世界の防災の発展に貢献できるよう、関係機関と連携して会議開催に向けた取り組みを進めてまいります。寄付を通じて応援いただけますと幸いです。

担当：まちづくり政策局 アジア太平洋防災閣僚級会議準備室　TEL022-302-5715

震災メモリアル事業



「震災遺構仙台市立荒浜小学校」は被災当時のまま保存・公開。

- 当事業では、過去に津波で大規模な被害を受けた「震災遺構仙台市立荒浜小学校」の保存・公開や、沿岸部地域への玄関口となる施設「せんだい3.11メモリアル交流館」の運営など、東日本大震災の経験と教訓を未来や世界へつなぐ取り組みを行っています。
- また、東日本大震災時の災害対応を経験した職員が減少していく中で、災害の経験を職員間で伝承し、今後起こりうる災害に備え、災害対応力に優れた組織風土を醸成するための取り組みを行っています。



「せんだい3.11メモリアル交流館」では、被災当時からの沿岸部の状況を写真で見ることができる。夏には沿岸部体験プログラムの実施も。







職員間伝承事業では、当時を知る職員の経験をまとめた資料を作成。災害対応に関する研修等で活用されている。

企業の皆様へのメッセージ

本市では、東日本大震災での被災経験を教訓に、災害に強いまちづくりを目指し、各種事業を行っております。寄付を通じて応援いただけますと幸いです。

担当： まちづくり政策局 防災環境都市推進室　TEL022-214-1117

脱炭素都市づくり推進事業

- 脱炭素社会を実現するため、市民や事業者との協働により、温室効果ガス排出削減に取り組みます。



脱炭素先行地域づくり

定禅寺通等の３つのエリアにおいて、再エネ・省エネ技術を集中的に導入し、既存建築物の脱炭素リノベーションを行うなど、全国に展開できるモデルの創出を図る「脱炭素先行地域」の取り組みを推進します。



家庭向けの取り組み

家庭からの排出削減に向け、本市独自の断熱基準を満たす住宅の新築や断熱改修に対して補助を行うほか、住宅への太陽光パネルの導入支援や、市民の脱炭素行動を促進するための普及啓発事業を行います。



事業者向け・公共施設の取り組み

事業者と市が協働して排出削減を図る「温室効果ガス削減アクションプログラム」の推進や脱炭素セミナーの開催など、中小企業者の脱炭素経営を後押しします。また学校等、公共施設のZEB化や防災対応型太陽光発電システムの運用を行います。

企業の皆様へのメッセージ

Think globally, Act locally!

本市では、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、国から選定された「脱炭素先行地域」の取り組みや、高断熱住宅の普及、中小企業者の脱炭素経営推進など、独自の施策を積極的に展開しています。
「杜の都」の良好な環境を未来に継承するため、皆さまのご支援をお願いいたします。

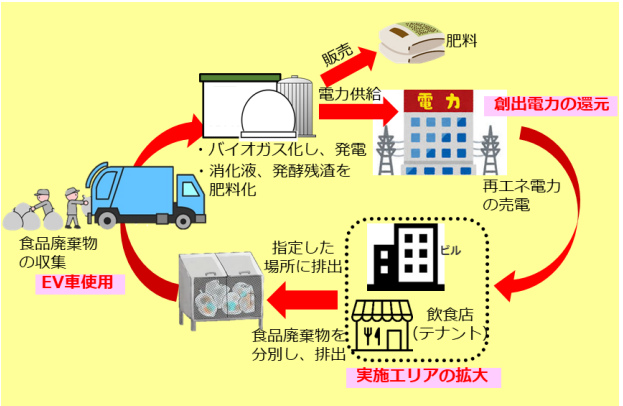
担当： 環境局 脱炭素政策課　TEL022-214-8232

ごみ減量・リサイクル推進事業

仙台市では「“杜の都の資源”を次の世代へ、持続可能な資源循環都市をめざして」というビジョンのもと、市民・事業者の皆さまとの連携・協働により、生活ごみ及び事業ごみの減量・リサイクルの取組みを進め、資源循環都市づくりを推進していきます。







資源循環の「見える化」

資源循環を一層推進するため、企業との協働により、定禅寺通のケヤキの剪定枝と家庭から出されたプラスチック資源を混合してオリジナルタンブラー等を製作するなど、市民にとって身近な製品へリサイクルする資源循環の「見える化」を推進していきます。

ごみ減量・資源循環の人づくり

使い捨てプラスチックごみの削減や、食品ロス削減等、ごみ減量・資源循環をテーマに企業・市民との協働による「エコフェスタ」等のイベント開催、各種企業と連携したキャンペーンを実施していきます。

定禅寺通等食品リサイクル推進モデル事業

飲食店等から排出される食品廃棄物をEV車で収集し、バイオガス発電の燃料や肥料として活用するモデル事業を実施。飲食店等における食品リサイクルの推進と、創出した電力を飲食店等に還元する仕組みの構築に取り組みます。

企業の皆様へのメッセージ

喫緊の課題であるプラスチック資源循環をはじめ、資源循環都市づくりに向けた様々な取り組みを推進していくために皆さまのご協力をお願いいたします。

担当： 環境局 資源循環企画課　TEL022-214-8230

東部地域みどりの再生事業

- “杜の都”仙台の東部地域には防風・防砂のための藩政期以来の海岸林や憩いの場としての海岸公園とそのみどり、農村に暮らす方々の屋敷林・居久根など、私たちの暮らしに必要不可欠な多様なみどりがありましたが、2011年3月に発生した東日本大震災の津波により仙台東部地域のみどりは失われてしまいました。
- 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」は、これらの東部地域一帯のみどりを、市民ひとりひとりの「ふるさとの杜」と捉え、再生に取り組んでいくプロジェクトとして2014年からスタートしました。30年かけて植え育て、震災の教訓・記憶・復興の記録として、また、みどりの財産として様々な立場の人々の協働により次代につないでいく息の長い震災復興のメモリアル事業です。



企業との共同植樹会



企業との育樹会



小学生との苗木づくり

企業の皆様へのメッセージ

「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」では、これまで約3,630名の参加を得て、約28,350本を植樹してきました。今後は植えた木を大きく育てる「育樹」を行いながら、プロジェクトを広め、杜づくりを通して震災の記憶と復興の過程を後世に伝えていくために、未来を担う子どもたちと進めます。
また、ふるさとの杜を活用した環境学習や自然体験活動を通して、より豊かな暮らしと憩いを目指します。
「ふるさとの杜」は「あなたの杜」です。一緒に東部地域のみどりの再生に取り組みませんか？

担当： 建設局 百年の杜推進課　TEL022-214-8392

緑の保全事業

- 本市では、昭和48年3月に「杜の都の環境をつくる条例」を制定（平成18年6月改正）し、自然との調和ある環境の創造と杜の都の伝統ある風土を未来に発展させることを目指し、市街地の貴重な緑地を保全してきました。
- 「杜の都の環境をつくる条例」に基づき地域の美観風致上優れている樹木を保存樹木、保存樹林として、また、残された民有地の緑を主体に土地所有者の理解と協力を得て保存緑地を指定しています。管理はそれぞれの所有者が行うこととしていますが、保全に係る経費の負担軽減対策として、指定交付金等の交付や各種市税の軽減、資材援助等を行っています。

※令和８年4月1日時点の指定状況：保存樹木176件（181本）、保存樹林19件　保存緑地40箇所（643.38ha）



保存樹木：秋保野尻のいちい・さくら
（H18.12.12　R2.8.25指定）



保存樹林：泉区上谷刈
（R1.12.26指定）



保存緑地：旗立保存緑地
（S50.6.5指定）

企業の皆様へのメッセージ

青葉山や広瀬川などの自然のみどり、社寺林や屋敷林などの文化的なみどり、市民の力で守り育んできた市街地を囲むみどり、そして、杜の都の代名詞となった風格ある街路樹など、仙台市にはこのまちならではの誇るべきみどりがあります。これらのみどりの保全と利活用にご支援ください。



杜の都の名木・古木（H29.3.31発行）

担当： 建設局 百年の杜推進課　TEL022-214-8392

生物多様性保全推進事業

本市では、水源涵養や食料確保、災害防止など人の暮らしに欠かせない、杜の都・仙台の豊かな生物多様性を保全するため、自然や生きものに対する理解や関心を深めるイベント等を実施とともに、多様な主体による保全活動を支援しています。



生きもの観察会などのイベント開催

仙台にゆかりのあるカジカガエル等の生きもの観察会や、ビオトープ田んぼの田植えと組み合わせて東日本大震災後の生態系再生を学ぶイベントなど、自然や生き物と直接ふれあい、生き物の魅力や大切さについて学ぶ企画の充実を図ります。



生物多様性を保全する活動の支援

「企業等による生物多様性を保全する活動」を国が認定する制度が始まりました。本市ではこの認定取得を目指す団体等を支援しています。認定後にはSNSやイベント開催等を通じて、認定地をPRしていきます。

認定取得を目指す企業様も募集しておりますのでぜひお問合せください！



WebやSNSを活用した情報発信

仙台に生息・生育する生きものの魅力を発信する動画や記事の配信、音源ダウンロードや生息地マップの掲載、認定取得地の取り組み等を、仙台市環境局公式Instagramやせんだい環境Webサイトたまきさん等を活用して発信します。

企業の皆様へのメッセージ

「杜の都」である本市の豊かな自然環境や生物多様性が大切に保存され、その恵みが将来に継承されるよう、皆さまのご支援をお待ちしております。

30by30

担当： 環境局 環境共生課　TEL022-214-0007

公共交通利用促進事業

- **持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、市民や事業者とともに、公共交通の利便性向上や利用促進等に取り組んでいます。**



学生の移動支援と公共交通の利用促進を図ることはもとより、若年層に公共交通の便利さを知ってもらい、持続可能な公共交通ネットワークの構築にもつなげるため、宮城交通と仙台市交通局の路線バスが乗り放題となる通学定期券「せんだいバスＦＲＥＥ＋」を導入しています。
通学に加えてアルバイトや買い物などでも利用でき、乗車・降車停留所のどちらかが仙台市内であれば、市外から市内、市内から市外の移動も乗り放題となる制度となっています。



公共交通の利用方法や利便性への理解を深めるPRイベントとして、本市や国、鉄道事業者、バス事業者、NPO法人など、多様な主体による展示・体験ブースを楽しめる「交通フェスタ」を平成24年より毎年開催し、こども連れを中心とした多くの市民にご参加いただいています。また、バスをもっと身近に感じてもらい、バスへの関心を高めるため、市内の小学生を対象に、夢にあふれたバスの絵を自由な発想で描いてもらう「バスの絵コンテスト」を開催しています。

企業の皆様へのメッセージ

鉄道やバスなどの公共交通は、通勤・通学・通院などの日常生活に必要不可欠な移動手段であるとともに、経済や観光、福祉などの多様な都市活動を支える重要なインフラです。人口減少や高齢化が進む中、持続可能なサービスの確保に向けた、公共交通の利便性向上や利用促進の取り組みへの後押しをお願いいたします。

担当： 都市整備局 公共交通推進課　TEL022-214-8353

地域交通運行確保・運行支援事業

- **公共交通のサービスレベルが低い地域等において、通勤・通学・通院・買物等、市民の日常生活に必要不可欠な移動手段の確保に向け、地域住民が中心となった取り組みを支援しています。**



地域の実情に見合った交通となるように、地域住民が主体となり、運行事業者・仙台市と三者協働により、仙台市が派遣する専門家の助言を受けながら、地域課題の把握や地域の合意形成、運行計画など、丁寧に検討を進めます。



地域の検討組織は、引き続き専門家の助言を受けながら、具体的な運行ルートや停留所、運行ダイヤ、運賃などの運行計画を検討し、試験運行、実証運行を行い持続可能性を検証します。



実証運行で地域交通の効率性や持続性などが確認できれば、本格運行へと至ります。
地域の検討組織で継続的に収支状況を確認して利用促進の取り組みを実施し、必要に応じて運行計画の見直しを行います。

企業の皆様へのメッセージ

公共交通のサービスレベルが低い地域にお住まいの方々にとって、生活に欠かすことのできない移動手段の確保は大きな課題です。持続可能な地域の移動手段の確保に向けた、地域の皆様が主体となった取り組みへの後押しをお願いいたします。

担当： 都市整備局 地域交通推進課　TEL022-214-8495

「Full Digitalの市役所」推進事業

- 「ひと」を中心に据え、デジタル化によって利便性を高めながら、暮らしやすさの実現や新たな価値の創出につなげる「Full Digitalの市役所」の実現を目指します。
- 令和８年度までを「集中改革期間」とし、市民と市役所との接点の変革、市役所内部のDXを推進します。また、令和12年度までを「高度化期間」とし、多分野にわたるサービスの変革を実行します。



SENDAIポータル

より快適に暮らせるまちづくりを目指すため、一人一人に合ったお知らせを発信し、気象情報や災害情報を速やかに発信するサービスです。マイページを作成すると、オンライン手続きやデジタル郵便受けなど、新たなサービスや機能が活用できます。



DATA SENDAIプラットフォーム

データを活用した新しいまちづくりの一環として、市の保有データのオープンデータ化を推進します。
データ連携基盤を利活用しやすい環境を提供し、企業などの多様な主体による連携を促すことで、新たなサービス価値の創出に取り組んでいます。

企業の皆様へのメッセージ

**仙台市はデジタル技術の活用により、サービスの在り方を見直し、利便性を向上させ、業務の効率化・集約化を進めることで、「ひと」と「近く・濃く」ふれあうことのできる市役所へと変革します。
「Full Digitalの市役所」の実現により、本市にかかわる全ての「ひと」の豊かな暮らし・活躍を支え、その幸せに繋げる本市の取り組みを、企業の皆様に応援していただけますと幸いです。**

担当： まちづくり政策局 行政デジタル推進課　TEL022-214-1264

「健康の都　せんだい」の推進

- 本市では、メタボリックシンドローム該当者・予備群が多い状況が続いており、市民一人ひとりの健康状態やライフスタイル等に合わせた健康づくりが必要です。
- 誰もがいきいきと暮らせる「健康の都　せんだい」を目指し、日ごろ健康にあまり関心のない方を含めた幅広い方々が健康を意識できるような、きっかけづくりに取り組んでいます。



歩こう動こう脱メタボプロジェクト

市民の身体活動や運動意識の向上と取り組むきっかけをつくるため、身体活動を促す啓発やイベントを実施しています。庁内の様々な分野で行われている健康づくりに関する取り組みを発信し、市民の健康づくりを後押しします。



健康フォーラム

健康づくりに関するきっかけや気づきを得る機会として「健康フォーラム」を開催しています。イベントを通じて、地域社会における健康に対する気運醸成を目指します。



PHR※利活用による健康づくり

健診結果や歩数等の健康情報を管理できる仕組みを活用し、自身の健康状態を可視化できる機会をつくります。これまで関心の低かった層も含め、自分自身で手軽に健康づくりに取り組めるきっかけとなるよう取り組んでいます。

※ PHR：パーソナル・ヘルス・レコード

企業の皆様へのメッセージ

生活習慣病の予防が社会課題となっている今、一人ひとりの心身の健康は、都市としての活力・魅力、地域発展にもつながると考えております。ご賛同いただける企業の皆様からのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

SENDAI 健康プラス

担当：健康福祉局 健康政策課　TEL022-214-3894

ハナミドリエ事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

未来の杜せんだいネット
ハナミドリエ

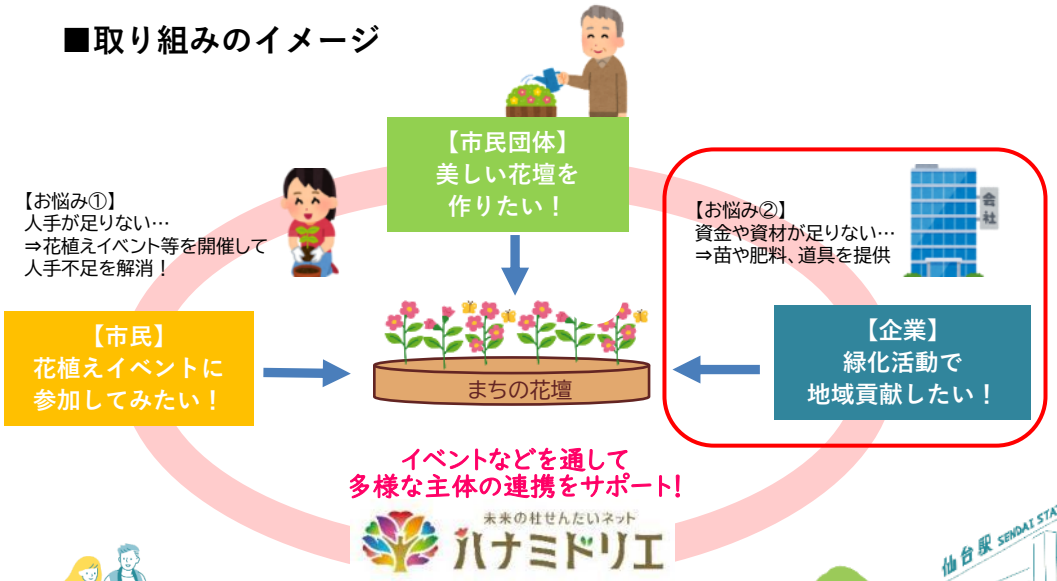
- 令和５年に開催した全国都市緑化仙台フェアを契機に醸成された緑化意識の高まりを未来に引き継いでいくため、花とみどりのネットワーク・プロジェクトとして、令和６年9月に未来の杜せんだいネット「ハナミドリエ」を開始しました。
- 本事業では、フェアで培った協働事業の成果をレガシーとして、フェア会場の協働で整備した花壇の一部を市民協働で継続するほか、次世代の担い手育成や、民間事業者や地域団体等との連携による枠組みの運営に取り組み、花やみどりを活用したまちづくりを推進しています。



ハナミドリエは、
花とみどりで、人と人、人とまちがつながる
花とみどりのネットワーク・プロジェクトです。

緑化活動をしたい個人や市民団体、緑化活動を通じて地域貢献をしたい企業などを、緑化イベントなどを通じてマッチングさせ、ネットワークの強化を目指します。

■取り組みのイメージ





市民団体による花壇づくり活動の様子



市民や企業が参加する花植えイベントの様子

企業の皆様へのメッセージ

このプロジェクトは、個人、市民団体、企業など、さまざまなレベルで参加できるのが特徴です。
ハナミドリエの“リエ”はフランス語でつなぐという意味。
花とみどりがたくさんのつながりを生み出します。
ぜひ、花とみどりのチカラで、仙台のまちを彩る取り組みを一緒に始めてみませんか。



仙台のまちを花とみどりのチカラで
もっとワクワク、イキイキするまちに、
もっとステキでオシャレなまちに



担当： 建設局 百年の杜推進課　TEL022-214-8389

文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

“伊達”な文化をはじめとした歴史・風土を礎として、官民一体となって、仙台市ならではの多彩な文化芸術活動を展開しています。





伊達家も振興に力を注いだ能楽の普及に向けた取り組み
左：能公演「仙臺能」
右：こどものための能講座





仙台クラシックフェスティバル
低額な入場料・多彩なプログラム・短い公演時間をコンセプトに、誰もが気軽にクラシックの名曲を楽しめる音楽フェスティバル





文化芸術による社会包摂の取組み
上：障害のある人もない人も
一緒に楽しめるコンサート
「リラックス・パフォーマンス」
下：社会包摂に係る取組みへの助成
※写真はR6年度採択事業：
手話通訳がいるダンスワークショップ





次代を担う子どもたちの豊かな感性を育む事業
左：学校や保育所等にアーティストを派遣するアウトリーチ事業
右：仙台フィルの楽団員が指導する「ジュニアオーケストラ」の運営





仙台国際音楽コンクール
３年ごとに開催するピアノとヴァイオリンのコンクール。仙台をキャリアの出発点として世界へはばたく若手音楽家を支援

企業の皆様へのメッセージ

年齢、心身の特性、社会的文化的背景等に関わらず、誰もが文化芸術に親しめる機会の充実を図るとともに、文化芸術の持つ多様な力を、教育・福祉・観光等の様々な側面に活かし、広くまちの活力向上につなげます。

担当： 文化観光局 文化振興課　TEL022-214-6137

アートによる定禅寺通エリア魅力創出事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

現在進行する定禅寺通再整備工事の完了後を見据え、アートで定禅寺通に新たな魅力や賑わいを創出します



完成イメージ（定禅寺通再整備方針より）



オン・ディスプレイ展示作品の一例
志賀 理江子《螺旋海岸 31》



展示イメージ

現代アート作家によるプロジェクト等の取り組み

令和7年度は初の試みとして、定禅寺通でのアート作品の展示や、せんだいメディアテーク館内でのアート作品の展示（オン・ディスプレイ）などを行いました。令和8年度は、将来的に大規模なアートイベントを開催することを見据えた社会実験として、市民や地域を巻き込む形態のアートプロジェクトを盛り込んだ2度目のアートイベントの開催を予定。また、せんだいメディアテークにおける「オン・ディスプレイ」の追加展示も実施します。

障害者アートプロジェクト

定禅寺通エリア周辺の企業やビル・店舗など地域の皆様にご協力いただき、市内で活動する障害のある作家の方が制作した作品を中心に展示するイベントを開催予定です。街なかを個性豊かな作品で彩り、道行く人が自由に鑑賞し楽しめる空間を創ることで、障害理解の更なる推進や、障害のある方のアート活動を通じた活動を応援します。

企業の皆様へのメッセージ

「定禅寺通再整備方針」でうたう「ひと中心の空間」の具現化を目指し、ハード面のみならず、ソフト面で定禅寺通のさらなる魅力を創出することで、定禅寺通を日常的に多様な人々が集い、憩い、何度でも訪れたくなるような市民の庭へと作り上げていきます。皆様の後押しをお願いいたします。

（現代アート作家によるプロジェクト担当）：文化観光局　文化振興課　TEL022-214-2641
（障害者アートプロジェクト担当）　：健康福祉局　障害企画課　TEL022-214-8151

ダイバーシティ推進事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

- 仙台は、全国に先駆けたバリアフリーまちづくりや、多様な主体の参画による防災・減災の取り組みなど、多様性を尊重したまちづくりを進めてきました。
- 人口減少や外国人住民の増加など、まちに集う人々の多様性が増す中、誰もが安心して住み続け活躍できるまちを目指し「仙台らしいダイバーシティまちづくり」を推進しています。



ジェンダードイノベーションの推進

性別や年齢など多様な視点を製品・サービスに組み入れ、新たな価値を創出していくジェンダードイノベーションについて、ワークショップなどを通じて市内に広げていきます。



留学生等と地域との交流

外国人住民がその経験や文化的背景、スキルを活かしてそれぞれの力を発揮できる機会を創出し、まちの活力につなげていくため、留学生等と地域との交流を推進しています。

企業の皆様へのメッセージ

多様な人々のもつ知識や経験、価値観を掛け合わせることにより新たな発想やイノベーションを生み出し、まちの力に変えていきます。

担当： まちづくり政策局 ダイバーシティ推進課　TEL022-214-8919

「学都仙台」大学等支援

- 本市は古くから「学都仙台」と呼ばれ、多くの大学・短期大学や研究機関等が集積しています。
- 本制度では、企業の皆様からの寄附を活用し、市内をはじめとする大学等が実施する地域振興や産学官連携等の取り組みを支援します。



対象事業

各大学等における、地域振興、産学官連携、経済活性化、学生等の定住促進等に資する事業

対象大学等

寄附の際は、以下の中から大学等をご指定ください。

- **仙台赤門短期大学**
- **仙台白百合女子大学**
- **東北学院大学**
- **東北大学**
- **宮城学院女子大学**

※令和8年11月4日現在、五十音順

寄附金の活用

原則として、**寄附額の9割**を指定された大学等が実施する事業に対して補助金として交付し、残りの1割は本市が実施する学都仙台の発展に資する事業に活用します。

企業の皆様へのメッセージ

大学や短期大学は、未来を担う人材の育成や、社会課題の解決につながる研究活動等を通じ、本市の発展を支える重要な存在です。「学都仙台」のさらなる発展に向け、皆様のご支援をお待ちしております。

担当： まちづくり政策局プロジェクト推進課　TEL022-214-1254